

運用報告書 (全体版)

第49期<決算日2023年3月20日>

グローバル・ボンド・ポート

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	1998年12月10日から無期限です。	
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ボンド・ポート (Cコース) (Dコース)	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	グローバル・ボンド・ポート (Cコース)	「F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジあり)」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減をはかるため、原則として全て対円での為替ヘッジを行います。
	グローバル・ボンド・ポート (Dコース)	「F T S E 世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし)」を運用にあたってのベンチマークとし、インデックスを上回る成果の実現をめざします。実質外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行いません。
組入制限	株式への投資は、転換社債の転換、新株予約権の行使および社債権者割当等により取得するものに限り、外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日 (原則として3月20日および9月20日。休業日の場合は翌営業日。) に、原則として利子・配当等収益の中から分配する方針です。売買益 (評価益を含みます。) 等は、基準価額水準、市況動向等を勘案して分配する方針です。分配対象額が少額の場合には、分配を行わない場合があります。	

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客さまのお取引内容につきましては、購入された

販売会社にお問い合わせください。

グローバル・ボンド・ポート (Cコース)
グローバル・ボンド・ポート (Dコース)

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「グローバル・ボンド・ポート」は、2023年3月20日に第49期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2

<http://www.am-one.co.jp/>

Cコース（為替ヘッジあり）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(除く日本、 円ベース、 為替ヘッジあり) (ベンチマーク)	期中 騰落率			
45期 (2021年3月22日)	円 10,433	円 50	% △5.0	ポイント 413.47	% △3.7	% 100.4	% -	百万円 8,497
46期 (2021年9月21日)	10,602	50	2.1	421.48	1.9	97.8	-	9,490
47期 (2022年3月22日)	9,682	50	△8.2	393.67	△6.6	99.8	-	9,254
48期 (2022年9月20日)	8,692	50	△9.7	358.35	△9.0	102.9	-	8,715
49期 (2023年3月20日)	8,507	50	△1.6	354.56	△1.1	97.4	-	8,940

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）です（以下同じ）。

(注5) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジあり) (ベンチマーク)		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率 %	ポイント	騰 落 率 %		
(期 首) 2022 年 9 月 20 日	8,692	—	358.35	—	102.9	—
9 月 末	8,490	△2.3	350.26	△2.3	97.4	—
10 月 末	8,428	△3.0	349.59	△2.4	98.3	—
11 月 末	8,566	△1.4	354.67	△1.0	95.5	—
12 月 末	8,383	△3.6	347.74	△3.0	96.6	—
2023 年 1 月 末	8,519	△2.0	353.36	△1.4	98.7	—
2 月 末	8,286	△4.7	344.92	△3.7	100.4	—
(期 末) 2023 年 3 月 20 日	8,557	△1.6	354.56	△1.1	97.4	—

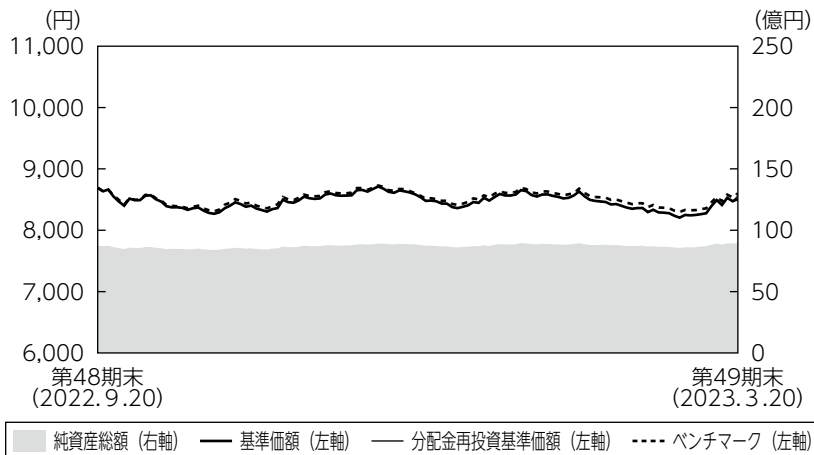
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

主要な海外の中央銀行の金融政策姿勢について、当面は金融引き締めが継続されるものの、その後は各国のインフレ鈍化等に伴い、そうした動きが緩まるとの見方や、米国の地方銀行の破綻に端を発した、金融セクターの信用力に対する懸念などを受け、米国など一部組入国の国債利回りが低下（価格は上昇）したことは小幅に基準価額のプラス要因となりました。しかし、内外の短期金利差拡大を背景に、為替ヘッジコストが大幅に増大したことを受け、基準価額は下落しました。

投資環境

債券市場はまちまちの動きとなりました。世界的にインフレ率が高水準にある中、その鎮静化のため、各国の中央銀行が金融引き締めを続けたことは、国債利回りの上昇（価格は下落）要因となりました。一方で、主要国のインフレ率の伸びがやや鈍化したことを受け、金融引き締めの動きが緩まるとの思惑は国債利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。また、期末にかけては、米国の銀行の破綻を受けた金融市場の混乱から、荒れた推移となりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Cコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、対円で為替ヘッジを行い、為替リスクを低減しました。

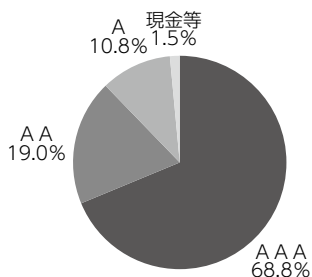
●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

デュレーション[※]は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比での長期化戦略を継続しました。とりわけ、米国のインフレ率の鈍化が見られた2022年10月以降は、デュレーション長期化幅を拡大しました。国別の投資配分については、ベンチマーク比率に対する米国のオーバーウェイト、ユーロ圏のアンダーウェイト、中国のアンダーウェイト（非保有）を継続しました。

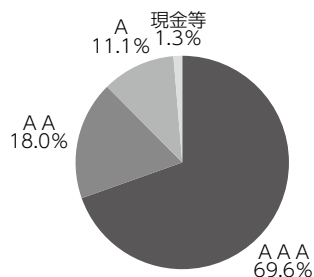
※金利変動に対する債券価格の変動性。

【グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの運用状況】 ※比率は純資産総額に対する割合です。

○格付別構成比
期首（前期末）



期末



(注) 格付については、海外格付機関（S & PおよびMoody's）による上位のものを採用しています。また、+・-等の符号は省略し、S & Pの表記方法にあわせて表示しています。

○国別構成比
期首（前期末）

		ファンド	世界国債 インデックス	差
北米	米国	57.0%	51.8%	5.2%
	カナダ	3.1%	2.1%	1.0%
	計	60.1%	53.9%	6.2%
中南米	メキシコ	0.0%	0.8%	△0.8%
	計	0.0%	0.8%	△0.8%
欧州	オーストリア	0.0%	1.2%	△1.2%
	ベルギー	5.7%	1.9%	3.8%
	フィンランド	0.0%	0.5%	△0.5%
	フランス	8.3%	8.7%	△0.4%
	ドイツ	7.8%	6.4%	1.4%
	アイルランド	0.0%	0.7%	△0.7%
	イタリア	0.0%	7.5%	△7.5%
	オランダ	0.0%	1.6%	△1.6%
	スペイン	8.7%	5.1%	3.6%
	ユーロ計	30.4%	33.5%	△3.1%
	デンマーク	0.0%	0.4%	△0.4%
	スウェーデン	0.0%	0.3%	△0.3%
英国	4.4%	4.6%	△0.2%	
ポーランド	2.1%	0.4%	1.6%	
ノルウェー	0.0%	0.2%	△0.2%	
計	37.0%	39.4%	△2.5%	
アジア・ オセアニア	オーストラリア	1.5%	1.6%	△0.1%
	中国	0.0%	2.9%	△2.9%
	シンガポール	0.0%	0.4%	△0.4%
	マレーシア	0.0%	0.5%	△0.5%
計	1.5%	5.5%	△3.9%	
中東	イスラエル	0.0%	0.4%	△0.4%
	計	0.0%	0.4%	△0.4%
現金など		1.5%	-	-
合計		100.0%	100.0%	-

期末

		ファンド	世界国債 インデックス	差
北米	米国	54.5%	49.7%	4.8%
	カナダ	3.1%	2.0%	1.1%
	計	57.6%	51.7%	5.8%
中南米	メキシコ	0.0%	0.8%	△0.8%
	計	0.0%	0.8%	△0.8%
欧州	オーストリア	0.0%	1.2%	△1.2%
	ベルギー	6.1%	1.9%	4.2%
	フィンランド	0.0%	0.5%	△0.5%
	フランス	6.5%	8.5%	△2.0%
	ドイツ	10.3%	6.6%	3.7%
	アイルランド	0.0%	0.6%	△0.6%
	イタリア	0.0%	7.6%	△7.6%
	オランダ	0.0%	1.5%	△1.5%
	スペイン	9.2%	5.1%	4.1%
	ユーロ計	32.1%	33.6%	△1.5%
	デンマーク	0.3%	0.3%	0.0%
	スウェーデン	0.2%	0.2%	△0.0%
英国	4.8%	4.8%	△0.1%	
ポーランド	1.9%	0.5%	1.5%	
ノルウェー	0.2%	0.2%	△0.0%	
計	39.5%	39.6%	△0.1%	
アジア・ オセアニア	オーストラリア	1.6%	1.6%	0.0%
	ニュージーランド	0.0%	0.2%	△0.2%
	中国	0.0%	4.7%	△4.7%
	シンガポール	0.0%	0.4%	△0.4%
マレーシア	0.0%	0.5%	△0.5%	
計	1.6%	7.5%	△5.9%	
中東	イスラエル	0.0%	0.3%	△0.3%
	計	0.0%	0.3%	△0.3%
現金など		1.3%	-	-
合計		100.0%	100.0%	-

(注) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

【グローバル・ボンド・ポート（Cコース）の通貨別構成比】

期首（前期末）

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	59.5%	△60.5%	△1.1%	7.2	6.3	1.0
	カナダ・ドル	3.2%	△3.2%	0.0%	7.6	7.1	0.5
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.6%	△4.7%	△0.1%	10.8	11.5	△0.8
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.5	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.7	—
	ユーロ	31.8%	△32.5%	△0.7%	7.0	7.6	△0.6
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.4	—
	ポーランド・ズロチ	2.2%	△2.2%	△0.1%	1.0	3.8	△2.8
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.6%	△1.6%	△0.0%	10.2	7.1	3.1
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.8	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.3	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.7	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.4	—
現金等		△2.9%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。



期末

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	53.8%	△51.5%	2.2%	7.5	6.2	1.3
	カナダ・ドル	3.0%	△2.9%	0.1%	7.7	7.0	0.7
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.7%	△4.5%	0.2%	10.4	10.7	△0.3
	デンマーク・クローネ	0.3%	△0.3%	0.0%	8.6	8.6	△0.0
	ノルウェー・クローネ	0.2%	△0.2%	0.0%	4.7	4.6	0.1
	ユーロ	31.7%	△30.7%	1.0%	7.8	7.3	0.6
	スウェーデン・クローナ	0.2%	△0.2%	0.0%	6.4	6.1	0.3
	ポーランド・ズロチ	1.9%	△1.9%	△0.0%	0.6	3.6	△3.0
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.6%	△1.6%	0.0%	9.6	6.8	2.8
	ニュージーランド・ドル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.2	—
	シンガポール・ドル	0.0%	0.0%	0.0%	—	8.3	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.0	—
中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.5	—	
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.0%	0.0%	—	6.1	—
現金等		2.6%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

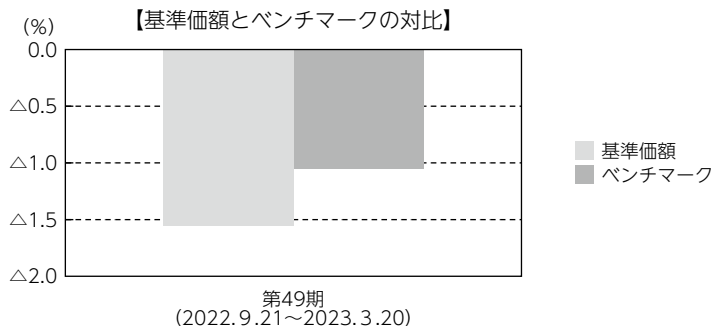
(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で1.1%下落しました。
グローバル・ボンド・ポート（Cコース）はベンチマークを0.5%下回りました。信託報酬等による影響を除いた実質の運用収益は概ね中立寄与となり、信託報酬がマイナス要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年9月21日 ～2023年3月20日
当期分配金（税引前）	50円
対基準価額比率	0.58%
当期の収益	45円
当期の収益以外	4円
翌期繰越分配対象額	4,015円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

引き続き、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、対円での為替ヘッジを行い、為替リスクの低減をめざします。

●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

米国の住宅市場の減速や、コアサービスインフレの鈍化・減速は続いており、また、米国の銀行の破綻に端を発する、金融セクターの信用力に対する懸念などから、国債利回りは低下方向で推移すると見えています。このことからデュレーションについては、ベンチマーク対比では長期化することを軸とした運営を継続します。国別では、ユーロ圏をアンダーウェイトとする一方、米国などをオーバーウェイトとすることを基本とします。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第49期		項目の概要
	(2022年9月21日 ～2023年3月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	39円	0.463%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は8,467円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(20)	(0.232)	
(販売会社)	(17)	(0.205)	
(受託会社)	(2)	(0.027)	
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(保管費用)	(1)	(0.006)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
合計	40	0.471	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

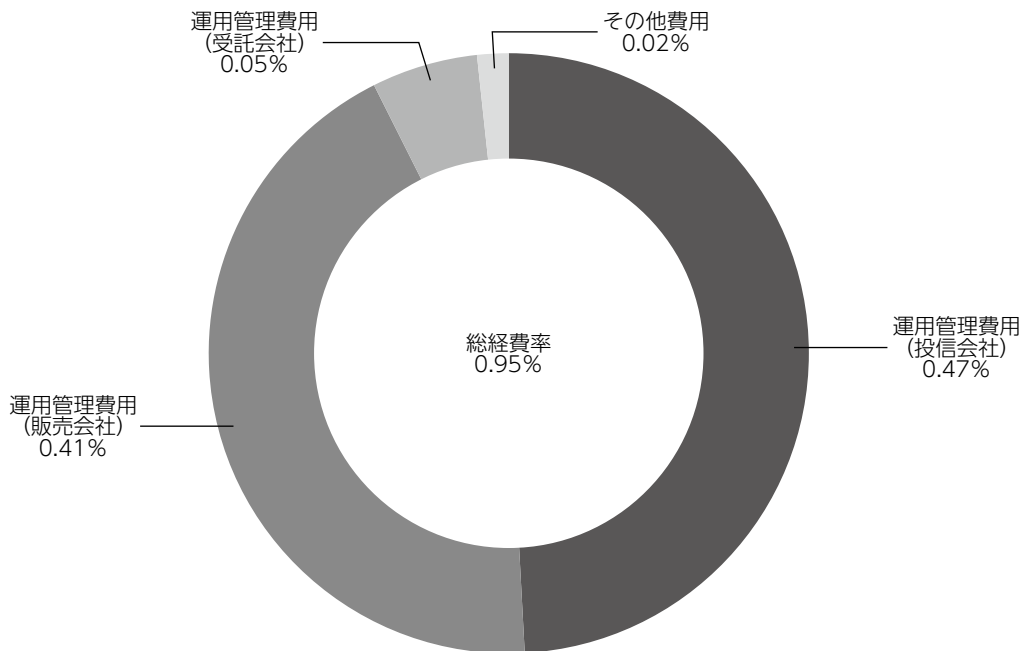
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.95%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 545,040	千円 1,419,472	千□ 506,123	千円 1,327,175

■利害関係人との取引状況等（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期 首(前期末)	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 3,342,249	千□ 3,381,165	千円 8,827,210

■投資信託財産の構成

2023年3月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	8,827,210	97.6
コール・ローン等、その他	218,038	2.4
投資信託財産総額	9,045,248	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2023年3月20日現在、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドは27,065,255千円、98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年3月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=132.68円、1カナダ・ドル=96.90円、1オーストラリア・ドル=89.28円、1イギリス・ポンド=161.78円、1デンマーク・クローネ=19.03円、1ノルウェー・クローネ=12.43円、1スウェーデン・クローナ=12.64円、1ポーランド・ズロチ=30.123円、1ユーロ=141.66円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	18,245,300,524円
コール・ローン等	27,335,488
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド(評価額)	8,827,210,029
未 収 入	9,390,755,007
(B) 負 債	9,304,504,604
未 払 金	9,208,848,299
未 払 収 益 分 配 金	52,550,645
未 払 解 約 金	2,603,375
未 払 信 託 報 酬	40,346,215
そ の 他 未 払 費 用	156,070
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	8,940,795,920
元 本	10,510,129,178
次 期 繰 越 損 益 金	△1,569,333,258
(D) 受 益 権 総 口 数	10,510,129,178口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,507円

(注) 期首における元本額は10,027,321,654円、当期中における追加設定元本額は712,976,467円、同解約元本額は230,168,943円です。

■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年3月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△6,356円
受 取 利 息	187
支 払 利 息	△6,543
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△86,530,859
売 買 損 益	1,393,427,853
信 託 報 酬	△1,479,958,712
(C) 信 託 報 酬	△40,502,285
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△127,039,500
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△1,655,195,409
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	265,452,296
(配 当 等 相 当 額)	(3,829,189,020)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△3,563,736,724)
(G) 合 計(D+E+F)	△1,516,782,613
(H) 次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△52,550,645
追 加 信 託 差 損 益 金	△1,569,333,258
(配 当 等 相 当 額)	265,452,296
(売 買 損 益 相 当 額)	(3,829,683,527)
分 配 準 備 積 立 金	(△3,564,231,231)
繰 越 損 益 金	390,625,437
繰 越 損 益 金	△2,225,410,991

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	47,553,868円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	3,829,683,527
(d) 分 配 準 備 積 立 金	395,622,214
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	4,272,859,609
(f) 1万口当たり当期分配対象額	4,065.47
(g) 分 配 金	52,550,645
(h) 1万口当たり分配金	50

■分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金

50円

※分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

■投資対象に関する格付け制限を変更し、下記の通り一部緩和することを予定しています。

変更前：高格付（A格以上）の債券に限定します。

変更後：原則として高格付（A格以上）の債券に投資します。

ベンチマーク構成国の国債は、上記格付基準にかかわらず投資可能とします。

(変更適用日：2023年7月3日)

Dコース（為替ヘッジなし）

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			F T S E 世界国債 インデックス		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	(除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)	期中 騰落率			
45期 (2021年3月22日)	円 11,910	円 100	% 0.4	ポイント 498.38	% 1.7	% 98.1	% -	百万円 12,271
46期 (2021年9月21日)	11,944	100	1.1	506.63	1.7	98.0	-	12,471
47期 (2022年3月22日)	11,582	100	△2.2	502.80	△0.8	98.0	-	12,281
48期 (2022年9月20日)	11,929	100	3.9	529.19	5.2	98.5	-	12,789
49期 (2023年3月20日)	11,278	100	△4.6	504.30	△4.7	98.4	-	12,242

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注4) ベンチマークはF T S E世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）です（以下同じ）。

(注5) F T S E世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注6) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 比 率	債券先物 比 率
	円	騰 落 率 %	ポイント	騰 落 率 %		
(期 首) 2022 年 9 月 20 日	11,929	—	529.19	—	98.5	—
9 月 末	11,684	△2.1	516.02	△2.5	97.6	—
10 月 末	11,956	0.2	531.09	0.4	98.5	—
11 月 末	11,631	△2.5	516.24	△2.4	96.2	—
12 月 末	11,035	△7.5	494.38	△6.6	96.0	—
2023 年 1 月 末	11,178	△6.3	498.37	△5.8	97.6	—
2 月 末	11,252	△5.7	503.37	△4.9	99.4	—
(期 末) 2023 年 3 月 20 日	11,378	△4.6	504.30	△4.7	98.4	—

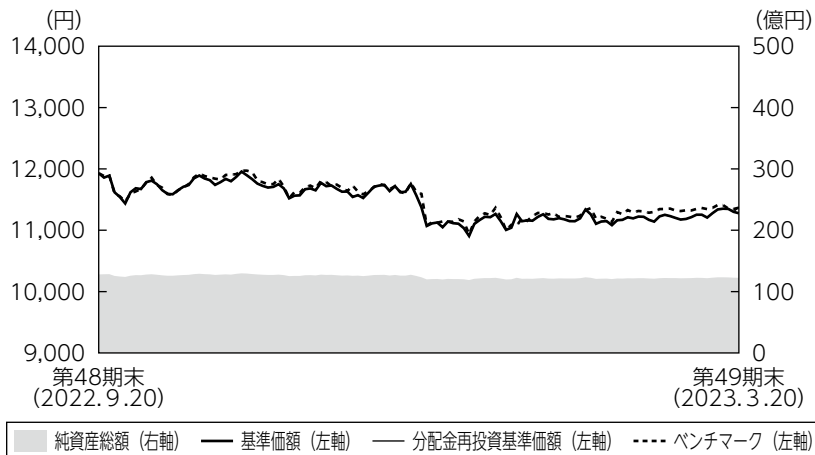
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

■当期の運用経過（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首の基準価額に合わせて指数化しています。

基準価額の主な変動要因

米国など海外の主要な中央銀行の金融政策姿勢について、各国の高いインフレ率から当面は金融引き締めが継続されるものの、その後は各国のインフレ鈍化や景気減速に伴い、そうした引き締めの動きが緩まるという見方が広がったこと、さらには日本銀行が金融政策修正を実施したことで、内外の金利差拡大を背景として進んでいた円安要因が剥落し、主要通貨に対する円高が進んだことが主な要因となり、基準価額は下落しました。

投資環境

債券市場はまちまちの動きとなりました。世界的にインフレ率が高水準にある中、その鎮静化のため、各国の中央銀行が金融引き締めを続けたことは、国債利回りの上昇（価格は下落）要因となりました。一方で、主要国のインフレ率の伸びがやや鈍化したことを受け、金融引き締めの動きが緩まるとの思惑は国債利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。また、期末にかけては、米国の銀行の破綻を受けた金融市場の混乱から、荒れた推移となりました。

為替市場では、多くの主要通貨に対して円高が進みました。多くの国でインフレ率の伸びがやや鈍化し、それらの国の中央銀行における金融引き締め姿勢が緩まるとの見通しが広がったことや、日本銀行が2022年12月の金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の変動許容幅を拡大する金融政策の修正を実施したこと、さらに期末にかけて、米国の銀行の破綻を受けた市場心理の悪化から、円への逃避需要が高まったことなどが円高要因となりました。

ポートフォリオについて

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）は、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの組入比率を高位に維持することを基本に運用しました。また、為替予約取引を用いて、機動的に為替リスクを調整する運用を行いました。通貨配分については、米国の相対的な金融引き締めの進展の速さや金利水準の高さから、ベンチマーク比率に対する米ドルのオーバーウェイト、欧州経済の先行き不安からユーロのアンダーウェイトを中心とした運営を実施しました。

●グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

デュレーション[※]は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比での長期化戦略を継続しました。とりわけ、米国のインフレ率の鈍化が見られた2022年10月以降は、デュレーション長期化幅を拡大しました。国別の投資配分については、ベンチマーク比率に対する米国のオーバーウェイト、ユーロ圏のアンダーウェイト、中国のアンダーウェイト（非保有）を継続しました。

※金利変動に対する債券価格の変動性。

マザーファンドの運用状況については、5ページをご参照ください。

【グローバル・ボンド・ポート（Dコース）の通貨別構成比】

期首（前期末）

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	56.9%	△0.0%	56.9%	7.2	6.3	1.0
	カナダ・ドル	3.1%	△1.0%	2.1%	7.6	7.1	0.5
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.4%	△0.1%	4.3%	10.8	11.5	△0.8
	デンマーク・クローネ	0.0%	0.4%	0.4%	—	8.5	—
	ノルウェー・クローネ	0.0%	0.2%	0.2%	—	4.7	—
	ユーロ	30.4%	△2.9%	27.6%	7.0	7.6	△0.6
	スウェーデン・クローナ	0.0%	0.3%	0.3%	—	5.4	—
	ポーランド・ズロチ	2.1%	△0.9%	1.2%	1.0	3.8	△2.8
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.5%	0.0%	1.5%	10.2	7.1	3.1
	シンガポール・ドル	0.0%	0.4%	0.4%	—	7.8	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.3	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.7	—
	オフショア・人民元	0.0%	2.9%	2.9%	—	—	—
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.4%	0.4%	—	6.4	—
現金等		1.5%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。



期末

		通貨別組入状況			修正デュレーション		
		組入債券	為替予約・先物	計	ファンド	世界国債インデックス	差
北米	USドル	54.3%	△1.5%	52.8%	7.5	6.2	1.3
	カナダ・ドル	3.1%	△2.5%	0.6%	7.7	7.0	0.7
中南米	メキシコ・ペソ	0.0%	0.0%	0.0%	—	4.9	—
欧州	イギリス・ポンド	4.8%	△0.0%	4.7%	10.4	10.7	△0.3
	デンマーク・クローネ	0.3%	△0.0%	0.3%	8.6	8.6	△0.0
	ノルウェー・クローネ	0.2%	△0.0%	0.2%	4.7	4.6	0.1
	ユーロ	32.0%	1.1%	33.1%	7.8	7.3	0.6
	スウェーデン・クローナ	0.2%	△0.0%	0.2%	6.4	6.1	0.3
	ポーランド・ズロチ	1.9%	△0.6%	1.3%	0.6	3.6	△3.0
アジア・オセアニア	オーストラリア・ドル	1.6%	△1.0%	0.6%	9.6	6.8	2.8
	ニュージーランド・ドル	0.0%	1.2%	1.2%	—	6.2	—
	シンガポール・ドル	0.0%	0.4%	0.4%	—	8.3	—
	マレーシア・リンギット	0.0%	0.0%	0.0%	—	7.0	—
	中国元	0.0%	0.0%	0.0%	—	5.5	—
オフショア・人民元	0.0%	2.7%	2.7%	—	—	—	
中東	イスラエル・シケル	0.0%	0.3%	0.3%	—	6.1	—
現金等		1.6%	—	—	—	—	—

(注1) 比率は純資産総額に対する実質的な割合です。

(注2) 修正デュレーションとは、債券価格の金利変動に対する感応度をあらわす一つの指標です。

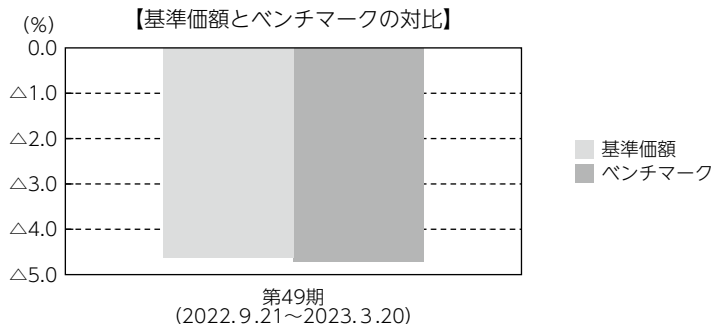
(注3) 世界国債インデックスとは、FTSE世界国債インデックス（除く日本）です。

(注4) 現金等は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で4.7%下落しました。

グローバル・ボンド・ポート（Dコース）はベンチマークを0.1%上回りました。信託報酬、ならびにベンチマークと投資信託との基準間の為替評価差異等による影響を除いた、実質的な運用収益は概ね中立寄与となり、為替評価差異がプラス寄与要因となりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2022年9月21日 ～2023年3月20日
当期分配金（税引前）	100円
対基準価額比率	0.88%
当期の収益	60円
当期の収益以外	39円
翌期繰越分配対象額	4,790円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドを高位に組入れることにより、債券部分の実質的な運用を当該マザーファンドにて行います。また、為替予約取引を用いて、機動的に通貨配分比率を調整する方針です。

マザーファンドの今後の運用方針については、7ページをご参照ください。

■ 1万口当たりの費用明細

項目	第49期		項目の概要
	(2022年9月21日 ～2023年3月20日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	53円	0.464%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,442円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(27)	(0.232)	
(販売会社)	(23)	(0.205)	
(受託会社)	(3)	(0.027)	
(b) その他費用	2	0.020	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(1)	(0.008)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(1)	(0.010)	
合計	55	0.484	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

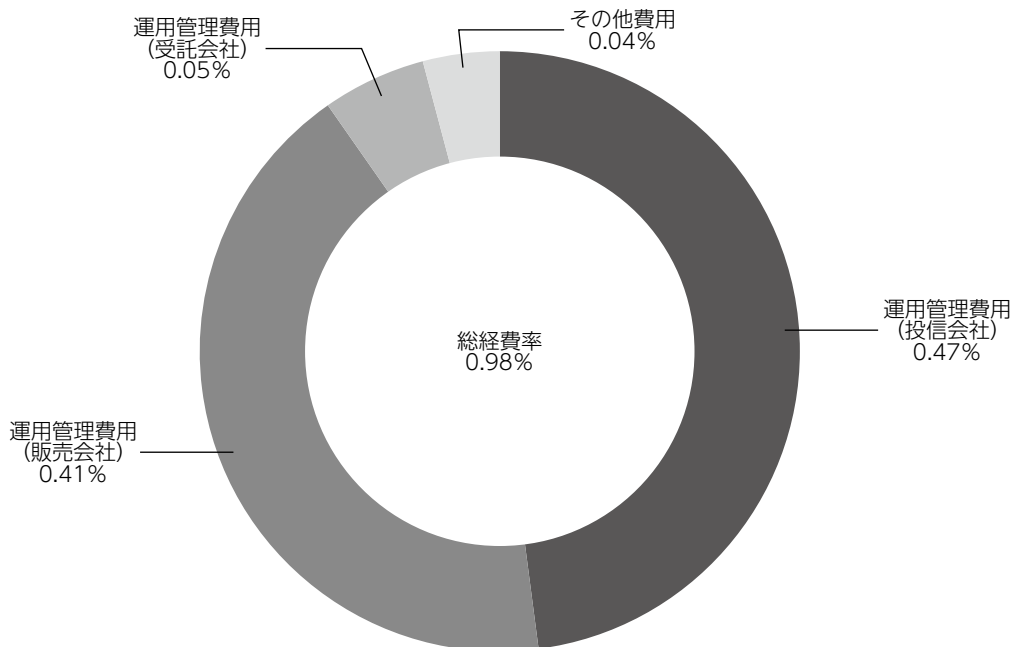
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.98%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 333,317	千円 874,375	千□ 348,829	千円 913,627

■利害関係人との取引状況等（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

（注）利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

親投資信託残高

	期 首(前期末)	当 期	末
	□ 数	□ 数	評 価 額
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	千□ 4,694,137	千□ 4,678,625	千円 12,214,487

■投資信託財産の構成

2023年3月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド	12,214,487	97.9
コール・ローン等、その他	264,044	2.1
投資信託財産総額	12,478,531	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、2023年3月20日現在、グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドは27,065,255千円、98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年3月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=132.68円、1カナダ・ドル=96.90円、1オーストラリア・ドル=89.28円、1イギリス・ポンド=161.78円、1デンマーク・クローネ=19.03円、1ノルウェー・クローネ=12.43円、1スウェーデン・クローナ=12.64円、1ポーランド・ズロチ=30.123円、1ユーロ=141.66円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	19,194,942,090円
コール・ローン等	32,624,866
グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド(評価額)	12,214,487,031
未 収 入	6,947,830,193
(B) 負 債	6,952,409,733
未 払 金	6,776,315,965
未 払 収 益 分 配 金	108,555,231
未 払 解 約 金	9,696,446
未 払 信 託 報 酬	57,619,160
そ の 他 未 払 費 用	222,931
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	12,242,532,357
元 本	10,855,523,137
次 期 繰 越 損 益 金	1,387,009,220
(D) 受 益 権 総 口 数	10,855,523,137口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,278円

(注) 期首における元本額は10,721,244,409円、当期中における追加設定元本額は707,579,157円、同解約元本額は573,300,429円です。

■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年3月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△9,459円
受 取 利 息	462
支 払 利 息	△9,921
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△510,933,158
売 買 損 益	594,999,196
未 収 入	△1,105,932,354
(C) 信 託 報 酬	△59,352,290
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△570,294,907
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	301,615,607
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,764,243,751
(配 当 等 相 当 額)	(4,758,667,019)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,994,423,268)
(G) 合 計(D+E+F)	1,495,564,451
(H) 次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	△108,555,231
追 加 信 託 差 損 益 金	1,764,243,751
(配 当 等 相 当 額)	(4,759,296,923)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△2,995,053,172)
分 配 準 備 積 立 金	440,714,883
繰 越 損 益 金	△817,949,414

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	66,044,248円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収 益 調 整 金	4,759,296,923
(d) 分 配 準 備 積 立 金	483,225,866
(e) 当 期 分 配 対 象 額(a+b+c+d)	5,308,567,037
(f) 1万口当たり当期分配対象額	4,890.20
(g) 分 配 金	108,555,231
(h) 1万口当たり分配金	100

■分配金のお知らせ

1万口当たり分配金

100円

※分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
 - 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

《お知らせ》

■投資対象に関する格付け制限を変更し、下記の通り一部緩和することを予定しています。

変更前：高格付（A格以上）の債券に限定します。

変更後：原則として高格付（A格以上）の債券に投資します。

ベンチマーク構成国の国債は、上記格付基準にかかわらず投資可能とします。

(変更適用日：2023年7月3日)

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンド

運用報告書

第51期（決算日 2023年3月20日）

（計算期間 2022年9月21日～2023年3月20日）

グローバル・ボンド・ポート・マザーファンドの第51期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	1997年10月16日から無期限です。
運用方針	信託財産の成長をはかることを目標に運用を行います。
主要投資対象	わが国を除く世界主要国の公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資には、制限を設けません。 株式への投資は、転換社債の転換、新株予約権の行使および社債権者割当等により取得するものに限ります。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース、為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入比率	債券先物比率	純資産額
	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率	期中騰落率			
47期 (2021年3月22日)	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
48期 (2021年9月21日)	25,869	0.5	498.38	1.7	98.5	-	28,731
49期 (2022年3月22日)	26,478	2.4	506.63	1.7	98.5	-	29,241
50期 (2022年9月20日)	26,085	△1.5	502.80	△0.8	98.5	-	28,432
51期 (2023年3月20日)	27,226	4.4	529.19	5.2	98.5	-	28,661
	26,107	△4.1	504.30	△4.7	98.7	-	27,216

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) ベンチマークはFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジなし）です（以下同じ）。

(注3) FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っていません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します（以下同じ）。

(注4) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

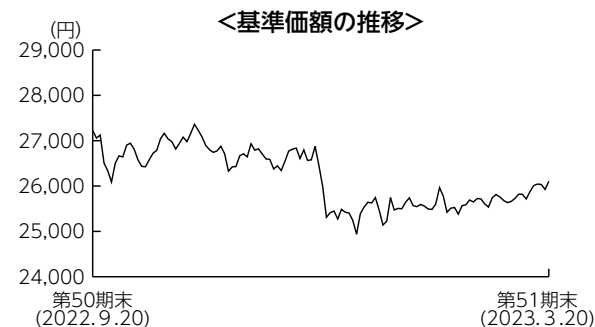
■当期中の基準価額と市況の推移

年 月 日	基 準 価 額		F T S E世界国債インデックス (除く日本、 円ベース、 為替ヘッジなし) (ベンチマーク)		債券組入 率	債券先物 率
	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率	騰 落 率		
(期 首) 2022 年 9 月 20 日	円 27,226	% -	ポイント 529.19	% -	% 98.5	% -
9 月 末	26,665	△2.1	516.02	△2.5	97.8	-
10 月 末	27,361	0.5	531.09	0.4	98.6	-
11 月 末	26,588	△2.3	516.24	△2.4	96.3	-
12 月 末	25,243	△7.3	494.38	△6.6	96.0	-
2023 年 1 月 末	25,558	△6.1	498.37	△5.8	97.5	-
2 月 末	25,813	△5.2	503.37	△4.9	99.1	-
(期 末) 2023 年 3 月 20 日	26,107	△4.1	504.30	△4.7	98.7	-

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率-売建比率です。

■当期の運用経過（2022年9月21日から2023年3月20日まで）

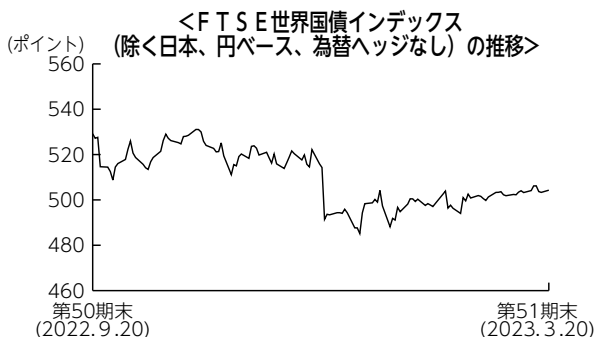


基準価額の推移

当期末の基準価額は26,107円となり、前期末比で4.1%下落しました。

基準価額の主な変動要因

米国など海外の主要な中央銀行の金融政策姿勢について、各国の高いインフレ率から当面は金融引き締めが継続されるものの、その後は各国のインフレ鈍化や景気減速に伴い、そうした引き締めの動きが緩まるとの見方が広がったこと、さらには日本銀行が金融政策修正を実施したことで、内外の金利差拡大を背景として進んでいた円安要因が剥落し、主要通貨に対する円高が進んだことが主な要因となり、基準価額は下落しました。



投資環境

債券市場はまちまちの動きとなりました。世界的にインフレ率が高水準にある中、その鎮静化のため、各国の中央銀行が金融引き締めを続けたことは、国債利回りの上昇（価格は下落）要因となりました。一方で、主要国のインフレ率の伸びがやや鈍化したことを受け、金融引き締めの動きが

緩まるとの思惑は国債利回りの低下（価格は上昇）要因となりました。また、期末にかけては、米国の銀行の破綻を受けた金融市場の混乱から、荒れた推移となりました。

為替市場では、多くの主要通貨に対して円高が進みました。多くの国でインフレ率の伸びがやや鈍化し、それらの国の中央銀行における金融引き締め姿勢が緩まるとの見通しが広がったことや、日本銀行が2022年12月の金融政策決定会合においてイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の変動許容幅を拡大する金融政策の修正を実施したこと、さらに期末にかけて、米国の銀行の破綻を受けた市場心理の悪化から、円への逃避需要が高まったことなどが円高要因となりました。

ポートフォリオについて

デュレーション^{*}は、中長期的な長期国債利回りの低下見通しに基づき、米国を中心にベンチマーク対比での長期化戦略を継続しました。とりわけ、米国のインフレ率の鈍化が見られた2022年10月以降は、デュレーション長期化幅を拡大しました。国別の投資配分については、ベンチマーク比率に対する米国のオーバーウェイト、ユーロ圏のアンダーウェイト、中国のアンダーウェイト（非保有）を継続しました。

^{*}金利変動に対する債券価格の変動性。

ベンチマークとの差異について

ベンチマークは前期末比で4.7%下落しました。

当ファンドはベンチマークを0.6%上回りました。ベンチマークと投資信託との基準間の為替評価差異等による影響を除いた、実質的な運用収益は概ね中立寄与となり、為替評価差異がプラス寄与要因となりました。

今後の運用方針

米国の住宅市場の減速や、コアサービスインフレの鈍化・減速は続いており、また、米国の銀行の破綻に端を発する、金融セクターの信用力に対する懸念などから、国債利回りは低下方向で推移すると見えています。このことからデュレーションについては、ベンチマーク対比では長期化することを軸とした運営を継続します。国別では、ユーロ圏をアンダーウェイトとする一方、米国などをオーバーウェイトとすることを基本とします。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2円 (2)	0.006% (0.006)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
合 計	2	0.006	
期中の平均基準価額は26,170円です。			

(注1) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注2) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況 (2022年9月21日から2023年3月20日まで)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカ・ドル 23,423	千アメリカ・ドル 26,853 (-)
	カナダ	国債証券	千カナダ・ドル 359	千カナダ・ドル 188 (-)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリア・ドル 310	千オーストラリア・ドル -
	イギリス	国債証券	千イギリス・ポンド 1,020	千イギリス・ポンド 629 (-)
	デンマーク	国債証券	千デンマーク・クローネ 4,763	千デンマーク・クローネ -
	ノルウェー	国債証券	千ノルウェー・クローネ 4,064	千ノルウェー・クローネ -
	スウェーデン	国債証券	千スウェーデン・クローナ 4,375	千スウェーデン・クローナ -
	ポーランド	国債証券	千ポーランド・ズロチ -	千ポーランド・ズロチ 2,578 (-)
国	ユーロ		千ユーロ	千ユーロ
	ベルギー	国債証券	5,192	4,361 (-)
	フランス	国債証券	8,833	12,353 (-)
	ドイツ	国債証券	10,742	6,533 (-)
□	スペイン	国債証券	5,598	4,721 (-)

(注1) 金額は受渡代金です(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2022年9月21日から2023年3月20日まで)

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細

公社債

(A) 債券種類別開示

外国（外貨建）公社債

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
		外 貨 建 金 額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千アメリカ・ドル 126,670	千アメリカ・ドル 111,725	千円 14,823,795	% 54.5	% -	% 29.7	% 23.4	% 1.3
カ ナ ダ	千カナダ・ドル 9,420	千カナダ・ドル 8,674	千円 840,522	3.1	-	3.1	-	-
オーストラリア	千オーストラリア・ドル 6,010	千オーストラリア・ドル 4,930	千円 440,238	1.6	-	1.0	0.6	-
イ ギ リ ス	千イギリス・ポンド 8,400	千イギリス・ポンド 8,021	千円 1,297,744	4.8	-	3.9	-	0.8
デ ン マ ー ク	千デンマーク・クローネ 5,800	千デンマーク・クローネ 4,762	千円 90,624	0.3	-	0.3	-	-
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェー・クローネ 4,200	千ノルウェー・クローネ 4,030	千円 50,096	0.2	-	0.2	-	-
ス ウ ェ ー デ ン	千スウェーデン・クローナ 4,700	千スウェーデン・クローナ 4,274	千円 54,032	0.2	-	0.2	-	-
ポ ー ラ ン ド	千ポーランド・ズロチ 17,500	千ポーランド・ズロチ 17,311	千円 521,467	1.9	-	-	-	1.9
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ	千円					
ベルギー	12,128	11,736	1,662,603	6.1	-	4.7	1.0	0.4
フランス	15,150	12,503	1,771,296	6.5	-	5.8	0.7	-
ドイツ	20,035	19,769	2,800,602	10.3	-	6.0	1.2	3.1
スペイン	17,950	17,668	2,502,866	9.2	-	6.4	2.8	-
合 計	-	-	千円 26,855,890	98.7	-	61.4	29.7	7.6

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

(B) 個別銘柄開示
外国（外貨建）公社債銘柄別

銘柄	種 類	利 率	額 面 金 額	期 間		償 還 年 月 日
				評 価 額		
				外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
(アメリカ)		%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
US T N/B 2.0 02/15/50	国債証券	2.0000	21,340	15,333	2,034,398	2050/02/15
US T N/B 1.125 05/15/40	国債証券	1.1250	9,900	6,653	882,837	2040/05/15
US T N/B 2.375 05/15/29	国債証券	2.3750	7,110	6,661	883,805	2029/05/15
US T N/B 1.625 05/15/31	国債証券	1.6250	22,880	19,987	2,651,984	2031/05/15
US T N/B 2.875 05/15/32	国債証券	2.8750	1,520	1,455	193,078	2032/05/15
US T N/B 2.0 08/15/25	国債証券	2.0000	16,560	15,873	2,106,032	2025/08/15
US T N/B 1.5 08/15/26	国債証券	1.5000	16,400	15,285	2,028,055	2026/08/15
US T N/B 2.25 11/15/24	国債証券	2.2500	2,750	2,672	354,636	2024/11/15
US T N/B 2.25 11/15/27	国債証券	2.2500	17,910	16,930	2,246,344	2027/11/15
US T N/B 4.125 11/15/32	国債証券	4.1250	10,300	10,872	1,442,621	2032/11/15
小 計	—	—	126,670	111,725	14,823,795	—
(カナダ)		%	千カナダ・ドル	千カナダ・ドル	千円	
CANADA 2.25 06/01/29	国債証券	2.2500	3,250	3,172	307,437	2029/06/01
CANADA 1.25 06/01/30	国債証券	1.2500	5,140	4,649	450,511	2030/06/01
CANADA 2.0 12/01/51	国債証券	2.0000	1,030	852	82,574	2051/12/01
小 計	—	—	9,420	8,674	840,522	—
(オーストラリア)		%	千オーストラリア・ドル	千オーストラリア・ドル	千円	
AUSTRALIAN 1.75 06/21/51	国債証券	1.7500	1,990	1,285	114,737	2051/06/21
AUSTRALIAN 2.75 11/21/27	国債証券	2.7500	1,820	1,796	160,417	2027/11/21
QUEENSLAND TREASURY CORP 1.75 08/21/31	特殊債券	1.7500	2,200	1,849	165,082	2031/08/21
小 計	—	—	6,010	4,930	440,238	—
(イギリス)		%	千イギリス・ポンド	千イギリス・ポンド	千円	
UK TREASURY 3.25 01/22/44	国債証券	3.2500	2,440	2,268	367,036	2044/01/22
UK TREASURY 0.125 01/31/24	国債証券	0.1250	1,470	1,428	231,038	2024/01/31
UK TREASURY 0.875 10/22/29	国債証券	0.8750	2,700	2,337	378,142	2029/10/22
UK TREASURY 4.75 12/07/38	国債証券	4.7500	200	228	36,939	2038/12/07
UK TREASURY 4.25 12/07/55	国債証券	4.2500	1,590	1,759	284,586	2055/12/07
小 計	—	—	8,400	8,021	1,297,744	—
(デンマーク)		%	千デンマーク・クローネ	千デンマーク・クローネ	千円	
DENMARK 0.0 11/15/31	国債証券	0.0000	5,800	4,762	90,624	2031/11/15
小 計	—	—	5,800	4,762	90,624	—
(ノルウェー)		%	千ノルウェー・クローネ	千ノルウェー・クローネ	千円	
NORWAY 2.0 04/26/28	国債証券	2.0000	4,200	4,030	50,096	2028/04/26
小 計	—	—	4,200	4,030	50,096	—
(スウェーデン)		%	千スウェーデン・クローナ	千スウェーデン・クローナ	千円	
SWEDEN 0.75 11/12/29	国債証券	0.7500	4,700	4,274	54,032	2029/11/12
小 計	—	—	4,700	4,274	54,032	—
(ポーランド)		%	千ポーランド・ズロチ	千ポーランド・ズロチ	千円	
POLAND 4.0 10/25/23	国債証券	4.0000	17,500	17,311	521,467	2023/10/25
小 計	—	—	17,500	17,311	521,467	—

銘柄	当			期		末
	種類	利率	額面金額	評価額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(ユーロ…ベルギー)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BELGIUM 4.0 03/28/32	国債証券	4.0000	1,700	1,868	264,634	2032/03/28
BELGIUM 1.7 06/22/50	国債証券	1.7000	1,900	1,404	198,927	2050/06/22
BELGIUM 2.6 06/22/24	国債証券	2.6000	800	800	113,333	2024/06/22
BELGIUM 3.0 06/22/34	国債証券	3.0000	5,728	5,768	817,105	2034/06/22
BELGIUM 0.8 06/22/25	国債証券	0.8000	1,000	963	136,501	2025/06/22
BELGIUM 0.8 06/22/27	国債証券	0.8000	1,000	932	132,100	2027/06/22
小計	—	—	12,128	11,736	1,662,603	—
(ユーロ…フランス)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
FRANCE OAT 2.0 05/25/48	国債証券	2.0000	2,650	2,175	308,170	2048/05/25
FRANCE OAT 0.5 05/25/29	国債証券	0.5000	350	310	43,979	2029/05/25
FRANCE OAT 2.75 10/25/27	国債証券	2.7500	1,370	1,385	196,311	2027/10/25
FRANCE OAT 0.0 11/25/31	国債証券	0.0000	10,780	8,632	1,222,834	2031/11/25
小計	—	—	15,150	12,503	1,771,296	—
(ユーロ…ドイツ)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
BUNDESobl 0.0 04/16/27	国債証券	0.0000	2,500	2,292	324,733	2027/04/16
DEUTSCHLAND 4.25 07/04/39	国債証券	4.2500	3,590	4,574	648,006	2039/07/04
DEUTSCHLAND 08/15/29	国債証券	0.0000	7,920	6,954	985,173	2029/08/15
BUNDESSCHAT 0.0 09/15/23	国債証券	0.0000	6,025	5,948	842,688	2023/09/15
小計	—	—	20,035	19,769	2,800,602	—
(ユーロ…スペイン)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
SPAIN 1.95 04/30/26	国債証券	1.9500	1,200	1,174	166,444	2026/04/30
SPAIN 4.7 07/30/41	国債証券	4.7000	4,100	4,699	665,794	2041/07/30
SPAIN 2.35 07/30/33	国債証券	2.3500	7,150	6,599	934,878	2033/07/30
SPAIN 1.45 10/31/27	国債証券	1.4500	4,400	4,148	587,627	2027/10/31
SPAIN 2.55 10/31/32	国債証券	2.5500	1,100	1,045	148,121	2032/10/31
小計	—	—	17,950	17,668	2,502,866	—
合計	—	—	—	—	26,855,890	—

■投資信託財産の構成

2023年3月20日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	26,855,890	97.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	639,930	2.3
投 資 信 託 財 産 総 額	27,495,821	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨ててあります。％は、小数点第2位を四捨五入しています。

(注2) 当期末の外貨建資産の投資信託財産総額に対する比率は、27,065,255千円、98.4%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2023年3月20日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=132.68円、1カナダ・ドル=96.90円、1オーストラリア・ドル=89.28円、1イギリス・ポンド=161.78円、1デンマーク・クローネ=19.03円、1ノルウェー・クローネ=12.43円、1スウェーデン・クローナ=12.64円、1ポーランド・ズロチ=30.123円、1ユーロ=141.66円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年3月20日)現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	27,495,821,045円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	434,655,403
公 社 債(評価額)	26,855,890,883
未 収 利 息	158,427,352
前 払 費 用	46,847,407
(B) 負 債	278,825,000
未 払 解 約 金	278,825,000
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	27,216,996,045
元 本	10,425,250,503
次 期 繰 越 損 益 金	16,791,745,542
(D) 受 益 権 総 口 数	10,425,250,503口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,107円

(注1) 期首元本額 10,527,197,002円
追加設定元本額 890,190,688円
一部解約元本額 992,137,187円

(注2) 期末における元本の内訳
グローバル・ボンド・ポート (Cコース) 3,381,165,982円
グローバル・ボンド・ポート (Dコース) 4,678,625,285円
グローバル・ボンド・ポート毎月決算コース (為替ヘッジなし) 1,346,664,878円
D I A Mグローバル・ボンド・ポート毎月決算コース2 976,647,451円
D I A Mグローバル・ボンド・ポートVA (ヘッジなし) 42,146,907円
期末元本合計 10,425,250,503円

■損益の状況

当期 自2022年9月21日 至2023年3月20日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	270,438,518円
受 取 利 息	270,555,403
支 払 利 息	△116,885
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△1,438,637,260
売 買 益	337,114,609
売 買 損	△1,775,751,869
(C) そ の 他 費 用	△1,714,473
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△1,169,913,215
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	18,134,083,258
(F) 解 約 差 損 益 金	△1,606,439,813
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,434,015,312
(H) 合 計(D+E+F+G)	16,791,745,542
次 期 繰 越 損 益 金(H)	16,791,745,542

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。